

**令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－**  
**ワークショップ実施計画書**

<b>制作団体名</b>	株式会社 <b>劇団 芸優座</b>
<b>公演団体名</b>	株式会社 <b>劇団 芸優座</b>

内容
<p><b>① 第一部(全校生徒の皆さんを対象に・・・ 45分)</b></p> <p>☆事前の鑑賞指導            公演本番を心待ちにして頂ける様、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる京都の風景や時代背景、一休禅師の生涯についてなど、プロジェクターで美しい映像を見ながら簡潔に説明します。</p> <p>☆「お芝居の稽古」体験            俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動を、ウォーミングアップとして劇団員と一緒にやってみます。            続いて、全員参加シーンのお稽古ですが、まずどんな場面なのか、具体的な説明をし、せりふの「きっかけ」を覚え、歌のお稽古をします。            さらに、生徒さんの日常生活に役立つ演劇訓練として、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための「リラックス法」と「集中」の訓練を紹介します。</p> <p><b>② 第二部(共演する生徒さんを対象に・・・ 6～90分)</b></p> <p>★まずは、ウォーミングアップ            コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現する事の面白さ等を経験して頂くことを目標に、「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」等、目的のはっきりしたインプロゲームを楽しみます。続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるエチュード等、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>★舞台に立つための稽古            最後に、共演シーンの稽古をします。事前に予習をして頂く必要はありません。既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードで稽古が始まります。            まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明をした後、役ごとに分かれて、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイデアを大切にしながら、その役について研究します(当日もリハーサルがあります)。            本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって本番を迎えられるよう配慮します。</p> <p>同時に並行して・・・            スタッフ希望者は上記「ウォーミングアップ」までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれ、舞台や大道具についての説明を受けた後、DVDを観ながら役割分担をし、それぞれ「効果」などの練習をします。</p>

### タイムスケジュール（標準）

担当者到着 ～ 開始時間の 40～50 分前。（会場の下見と準備）

第一部(全体向け) 40～50 分(終了後、休憩 10 分)

第二部(共演者のみ) 前半 30 分・後半 30～60 分

※ワークショップ終了後、担当先生と公演当日の打ち合わせを予定しています。

### 派遣者数

講師 1 名 補助 3 名

### 学校における事前指導

❖ 共演者をご選定頂く事

❖ 全員で歌う曲の CD を事前にお送りしますので、事前に聞いておいて頂くとワークショップ当日の練習がスムーズです。

また、当日、全校生徒さんに資料をお配り頂きます。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 劇団 芸優座
公演団体名	株式会社 劇団 芸優座

演目

いっ きゅう  
『 一 休 さん 』 二幕四場

公演時間 80分 (途中休憩 10分)

脚本：平塚 仁郎

演出：村田 里絵

派遣者数

出演者 12名 スタッフ 3名

タイムスケジュール (標準)

開演時間を13時30分とした場合 ……

7時頃到着～ ただちに舞台・楽屋共、搬入・仕込み (所要時間 4時間)

(この間に、先生と開演の最終打ち合わせをします)

10時30分頃～ 共演生徒さん方のリハーサル (所要時間 1時間)

(共演生徒さんの衣装合わせ・座席の確認もします)

12時30分頃～ 昼食後、共演生徒さん再集合 (メイク・衣裳着替え・準備運動等)

13時30分開演～14時50分終演 (途中休憩10分)

(希望があればバックステージツアー、交流会など開催)

●ばらし作業には1時間半から2時間かかります。

実施校への協力依頼人員

特にお願いする事はありませんが、ご希望があれば、ばらし作業に参加できます(ただし、安全の都合上、できないこともありますのでご了承下さい)。

## 演目解説

### ★あらすじ ご存知！一休さんの笑いと感動の舞台劇！

#### 第一幕 この橋わたるべからず（お寺の大広間）

一休という名の少年が、安国寺で修行に励んでいました。明るく悪戯好きの一休さん、頓智にかけては將軍様の耳に届く程評判で、ある時、お城へ呼ばれて將軍様の目の前で… みんなも知っている一休さんの頓智話！

#### 第二幕 「言わずに書いた！」とはなんのこと？（お寺の門前）

賢い一休さんのもとには、困った事があると村の人たちが相談にやってきます。薬屋さんにお百姓の儀助どん、お役所の陣内さんまで、今日も次々と難題が持ち込まれますが… 一休さんは難問をどのように解決するでしょう

#### 第三幕 里山の夕景

お寺の小坊主たちと村の子供たちが、美しい里山で歌ったり、踊ったり、一緒に遊んだり… 母と子の感動シーンへのプロローグ！

#### 第四幕 「母上に会いたい・・・」（お寺の大広間）

母上とは何年も離れて暮らす一休さん。その母上が突然、お寺へ訪ねて来た！でも、二人には会ってはならない理由があったのです。そこへ、お取り調べのお代官たちがやって来て…

はらはらドキドキ、そして、感動の母と子、再会と別れの物語！

### ★テーマ それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！

#### ✿目標をみつけよう！

親と離れ、お寺という特殊な環境で厳しい修行に励んだ一休さん。どんなに辛く寂しくとも、常に前向きであろうとし、遂には、偉い人より尽くす人を目指すようになります。そして、大事なものは、目標を持つことそのものだと知ります。

#### ✿「とんち」は争いを避けるための手段としてのユーモア

一休さんは得意なとんちで、頭の固い大人をやっつけていたように見えますが、それは無駄に争うことを避けるための手段でもあると気づきます。そんなユーモアに、今だからこそもう一度注目したいと思います。

#### ✿人はみな平等

その子をそのまま受け入れ、厳しく優しく見守る和尚様が、事あるごとに教えているのは、「人はみな平等」ということ… それを、一休さんたちと共に心に刻みたいと思います。

#### ✿親の愛は無償の愛…

共に過ごす時間が少なくとも、親の愛も子の愛も、しっかり繋がることのできる… そんなことを再確認しつつ、離れて暮らさなくてはならなかった一休親子の、生涯で一度だけの再会となってしまったその場に立ち合ってください。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

### 共演について エキストラにさせません！

予め生徒さん(先生でも可)6名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジ可能です。男女・経験は問いませんが、高学年が望ましい所です(共演の生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)。

基本の出演シーンは、

- 第二幕「お寺の門前」では、「村の子供たち」として2名
- 第三幕「里山の夕景」では、「里の子供たち」として3～5名、さらに「子守」として1名

簡単なセリフと動きを覚えたり、歌や踊りの練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂きたい・・・単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は扮装のまま記念撮影をします。

### 全員で体験 チャンスは「俳優さん」だけではありません！

呼びかけと歌で誰もが参加できます。お芝居の始まりと終わりに、チャンスは二回あります。

- 幕開きで、他の小坊主たちと声を合わせて一休さんと呼んでください。
- 小坊主たちが歌う「おそうじの歌」を全員で合唱します。

事前に楽譜とCDをお送りしますので、できればワークショップの後、本番まで、繰り返し練習をして下さい。

### スタッフとして参加 舞台は「俳優さん」だけでは創れません！

舞台芸術は役者だけでは完成しません。「裏方さん」としても、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。そこで

- 開演・幕間のアナウンス
- 小道具の手渡し等のお手伝い
- 効果の手伝い 等が可能です。

### ◎事前の鑑賞指導について

わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的に深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。また、そもそも舞台芸術が「観客」と共に創造していくものであるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたい。楽しかったというその体験こそが、将来の良き「観客」を生み育むと見え、豊かな時間となるよう工夫します。

### ◎とにかく、一緒に動いてみよう！

共演を通じて、舞台芸術が身近になり、さらに深く興味を持って頂きたい、そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜びを経験して頂きたい。その為に必要な信頼関係を短期間で築くには、まず、一緒に動くこと動けることだと思っています。

## 児童生徒とのふれあい

### お別れのその時まで・・・

舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後のバックステージツアーや俳優達やスタッフとの交流会も実施可能です。

また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、またとない、楽しい経験になると思います。